



Audio Engineering Society

AES日本支部便り 2015年冬号

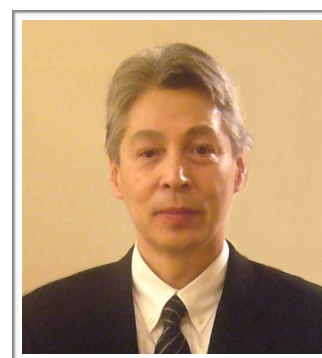
発行 AES日本支部 〒164-0013 東京都中野区弥生町2-19-9 Tel: 03-5358-7320 Fax: 03-5358-7328

Table of Contents

1. 支部長ご挨拶
2. 2015年度役員体制のお知らせ
3. 2015年度事業計画
4. 基礎音響セミナー2015のご報告
5. AESジャパンコンファレンス・名古屋2015のご報告

支部長ご挨拶

ひき続き2015年度もAES日本支部長を拝任いたしました、パイオニア（株）由雄淳一です。昨年度は支部活動、基礎音響セミナーそしてとりわけAESジャパンコンファレンス名古屋への多大なるご協力とご参加を頂きまして大変に有難うございました。おかげさまでジャパンコンファレンスは内容、参加者とも成功裏に終えることができました。



AES日本支部では学術、技術、産業への対応を行うとともに、支部の運営についても改革を続けてまいりました。支部運営則の改定、新役員の就任、コスト削減などを行ってきましたがやっと次世代支部の形が見えてまいりました。今期はさらに会員運営の本部サイトへの一元化、運営ガイドライン策定など効率化と省力化を進める予定です。

また今年度事業としては2016年度以降に予定しております次回コンファレンスにつて準備を進めてまいります。また日本支部例会は世界中のAES支部から見ても活発な活動であり、これを確実に運営してまいります。

本年度は大きな事業はありませんが、支部運営の改革を継続し、次世代支部へと向けて進めてまいります。

今後ともAES日本支部の活動にご理解とご協力を頂けますよう、宜しくお願い致します。

2015年度役員体制のお知らせ

	2015年度(2015/9-2016/8)	
	2年	1年
支部長		由雄 淳一
副支部長	丸井 淳史	
監事		染谷 和孝
運営担当理事	西村 明	菅野 重信
例会担当理事	飯嶋 慶太郎 小野 一穂	渡邊 祐子 岡田 詞朗
会員担当理事	中川原 修 喜多 真一	沢口 宙也
渉外担当理事	中村 寛	鈴木 弘明
会計担当理事	小谷野進司	中原 雅考
広報担当理事	高橋 宏幸 杉本 誠	中澤 哲矢 三村 将之
技術担当理事	星 和磨	内村 和嗣
教育担当理事	河原 一彦 長江 和哉	尾本 章 山崎 淳
事務局長		鈴木 弘明

2015年度事業計画

1. 会議

- ・ 定期総会、役員会、他

2. 事業

- ・ AES基礎音響セミナーの開催
- ・ AES日本支部名古屋コンファレンスの開催
- ・ 2016年度AES日本支部コンファレンスの準備

3. 支部体制の見直しと効率化

- ・ 支部会員様サービスの充実
- ・ 賛助企業様サービスの充実
- ・ 新規若手会員の獲得
(例会、コンファレンス時の広報活動、リクルート)
- ・ 運営法のマニュアル化
- ・ AES日本支部法人化等への検討
(本部補助、経理など)

4. 会員情報の管理

- ・ 本部データベースの活用継続

5. 会員への連絡

- ・ Webベースでの会員様連絡体制の推進継続

6. 例会

- ・ 見学会・基礎音響セミナーを含め、計10回程度開催予定
- ・ 地方開催の推進（名古屋、大阪ほか）

7. 懇親会

- ・ 2回開催（2015年9月，2015年12月）

基礎音響セミナー2015のご報告

今回で6回目となります「AES基礎音響セミナー2015」を8月30日、31日の2日間にわたり東京芸術大学千住キャンパス（東京都足立区）にて開催致しました。今年も多くの申し込みを頂き、合計68名（うち学生17名）の方々が受講。そのうち6名の方々に新規入会して頂くことができました。また、今年からは10名以上で10%割引の団体申し込みを開始したところ、2団体よりお申し込みを頂くことができました。講座に関しては、音響・オーディオ技術分野を幅広く網羅する総合セミナーとして、例年同様2日間で合計12種類の講座を設けました。毎年テーマを変えて開催しておりますマスタークラスに関しては、基礎音響セミナーの2週間後に開催されますAESジャパンコンファレンス・名古屋2015～3Dオーディオの可能性～へのプロローグとして「音場生成技術 ～理論とアプリケーション～」を3名のプレゼンターを招聘して開催致しました。そこでは波動方程式と音場



ガイダンス：丸井淳史（東京芸術大学）



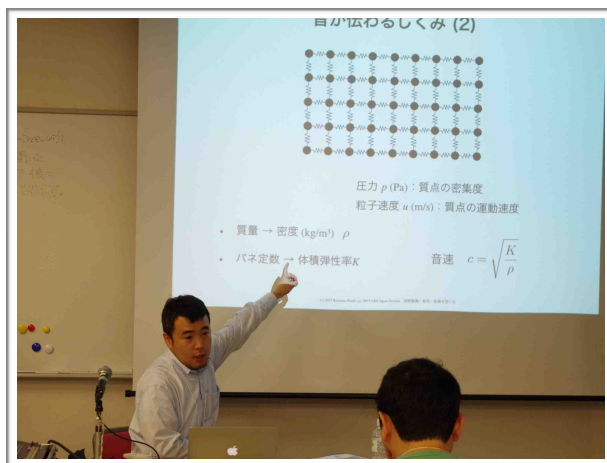
M. 音場生成技術 ～理論とアプリケーション～：
中原雅考（ソナ/オンフューチャー）尾本章（九州大学）小野一穂（NHK放送技術研究所）中山尚幸（ドルビージャパン）

再開技術の関係に関する解説に続き、WFS / Ambisonic / BoSCなどの物理モデル型ソリューション、22.2chやDolby Atmosなどの実践的ソリューションなど、実際のアプリケーション例が紹介されました。セミナー修了後の懇親会に関しては、22名の受講者の方々と14名の講師及びスタッフが参加し、有用な交流の場として賑わいました。

このような少数精鋭の環境にて、第一線で活躍されている講師陣から音響・オーディオの講義を集中して受講できる機会は他ではなかなか得られないのでは無いかと思っております。

これも講師の方々、受講者の皆様、そして平素よりAES日本支部の活動に対してご理解頂いておりますAES日本支部会員ならびに賛助会員の皆様のご協力の賜だと感謝しております。この場をお借りして、御礼申し上げます。

尚、賛助会員の皆様におかれましては、オプション会員にお申し込みを頂きますと、一口につきお一人分の参加が無料となります。このようなオプション会員のメリットをご利用頂き、今回のセミナーでは3名の方に無料でご参加頂きました（懇親会費別途）。2016年も引き続き「AES基礎音響セミナー」を開催する予定でございます。詳細な内容が決定しましたらご案内させていただきますので、何卒宜しくお願い致します。



A1. 音の基礎：星和磨（日本大学）



A2. 聴覚と音知覚の基礎：西村明（東京情報大学）

AES基礎音響セミナー2015 開催概要

- 日 時：2015年8月30日（日），31日（月） 9:00～18:00
- 場 所：東京芸術大学 千住キャンパス（東京都足立区千住1-25-1）
- 資料代：
 - 【学生】会 員：7,500円
 - 【学生】非会員：10,000円
 - 【一般】会 員：15,000円
 - 【一般】非会員：30,000円
 - 【オプション賛助会員】無料（1口につき1名）
 - 【団体割引】10名以上の団体申し込みで10%割引
- 懇親会参加費：
 - 【学生】2,500円
 - 【一般】5,000円
- セミナー概要
 - 【初級講座】
 - A1. 音の基礎：星和磨（日本大学）
 - A2. 聴覚と音知覚の基礎：西村明（東京情報大学）
 - A3. デジタルオーディオの基礎：藤井大希（ヤマハミュージックジャパン）

A4. 電気音響の基礎：田村良隆（スタジオイクイPMENT）

【中級講座】

B1. 室内音響入門：中原雅考（ソナ/オンフューチャー）

B2. 音の心理評価入門：丸井淳史（東京芸術大学）

B3. デジタル信号処理入門：鈴木久晴（エヴィクサー）

B4. スピーカー入門：小谷野進司（KOYANO Sound Lab.）

B5. マイクロホン入門：小野一穂（NHK放送技術研究所）

B6. ステレオ録音入門：亀川徹（東京芸術大学）

【特別講座】

C. 技術英語入門：鈴木弘明（ソナ）

【マスタークラス】

M. 音場生成技術 ～理論とアプリケーション～

中原雅考（ソナ/オンフューチャー）， 尾本章（九州大学）， 小野一穂（NHK放送技術研究所）， 中山尚幸（ドルビージャパン）



B1. 室内音響入門：中原雅考（ソナ/オンフューチャー）



B5. マイクロホン入門：小野一穂（NHK放送技術研究所）



B6. ステレオ録音入門：亀川徹（東京芸術大学）



C. 技術英語入門：鈴木弘明（ソナ）

AESジャパンコンファレンス・名古屋2015開催報告

実行委員長 名古屋芸術大学 長江和哉

2015年9月12日(土)から13日(日)、日本で行うリージョナルコンファレンスとしては4回目となる、AESジャパンコンファレンス・名古屋2015～3Dオーディオの可能性“Future of 3D Audio”～を名古屋芸術大学にて開催いたしました。当日は日本全国より多数の皆様にご来場いただき、盛況のうちに終了することができました。ご来場いただいた皆様とともに、協賛企業のみなさま、実行委員会のみなさまのご支援とご配慮に深く感謝申し上げます。

本コンファレンスは、サラウンドから3Dオーディオまでの最新動向をテーマとし、さまざまな技術発表やワークショップ「3Dオーディオの歴史」、

「3Dオーディオの現状と未来」、「サラウンド制作の取り組み」がおこなわれ、多くのみなさまのご参加を頂きました。さらに、オランダの録音制作会社ポリヒムニアのジャン＝マリー・ヘイセン氏と、日本を代表するレコーディングエンジニア吉田保氏を迎え、スペシャルレコーディング・ワークショップと

ミックスダウンセミナーを行いました。また、今回のテーマに基づき3Dオーディオについて体験試聴ルームも用意され、NHK 22.2ch, Auro-3D, Dolby Atmos, Eclipseによる最新3Dオーディオコンテンツ試聴には多くの方が体験をされました。今回はコンファレンスでありながら30社を越える協賛企業による企業展示も行われ、協賛企業によるプロダクトセミナーを10セッション開催することができました。また、将来のオーディオを担う学生も一同に会し、研究室紹介、サウンドアワードが開催されました。開催前日の9月11日(金)には、すべての音声回線に Dante を採用し全面改修を行った可児市文化創造センターalaの細部についてテクニカルツアーを行い、ネットワークがもたらす劇場音響のワークフローの変化と優位性とその運用例を紹介いただき、こちらも多数の参加を頂きました。



ワークショップ2: 3Dオーディオの現状と未来

Chair: 深田 晃 (株式会社 dream window)

今回、AESジャパンコンファレンスを初めて中京地区で開催させていただきながらも、このようなかたちで終えることができましたのは、AES日本支部会員のみなさまのご支援の賜物であると思っています。改めまして深く感謝申し上げます。



協賛企業様による最新の機器展示

プログラム

9月11日（金）

- ・ T.テクニカルツアー「岐阜県可児市文化創造センター」

9月12日（土）

- ・ 開会式
- ・ W1.ワークショップ1: 3Dオーディオの歴史
亀川 徹 （東京藝術大学 音楽学部 音楽環境創造科）
- ・ SP1.学生イベント：研究室紹介
- ・ W2.ワークショップ2: 3Dオーディオの現状と未来
Chair: 深田 晃 （株式会社 dream window）
- ・ P2.技術発表: ショートプレゼンテーション
- ・ P3.技術発表コアタイム
- ・ 懇親会



ワークショップ1: 3Dオーディオの歴史

亀川 徹 （東京藝術大学 音楽学部 音楽環境創造科）

9月13日（日）

- W3.ワークショップ3: サラウンド制作の取り組み
Chair: 安藤 正道（株式会社 CTV MID ENJIN）
- SP2.学生サウンドアワード
- SE3.レコーディング・ワークショップ
ジャン＝マリー・ヘイセン（Polyhymnia International B.V.）
- A.表彰式・閉会式



ワークショップ3: サラウンド制作の取り組み
Chair: 安藤 正道（株式会社 CTV MID ENJIN）



レコーディング・ワークショップ
ジャン＝マリー・ヘイセン（Polyhymnia International B.V.）